

ごあいさつ



帯広市長

米沢 則寿

第54回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）が、帯広市で盛大に開催されますことにお祝いを申し上げますとともに、選手並びに関係者の皆様のお越しを心より歓迎申し上げます。

全国の予選大会を勝ち抜き、本大会に出場されました各地区代表の皆様には、日頃の実力を存分に発揮されますとともに、北海道の大空のもと日本一を目指して、熱い戦いを繰り広げていただきたいと思います。

本市は、昭和63年に『健康スポーツ都市』を宣言し「スポーツをする人も見る人もスポーツを楽しみ、明るくたくましい心とからだをはぐくみ、躍動する豊かな街づくりを進める」としています。市内では、帯広の森のほか、各テニスコートを利用し、健康づくりから競技力の向上まで、目的はそれぞれながら、多くの愛好者がテニスに親しんでいます。

全国から多くの選手の皆様が集まる本大会が開催されますことは、地元の愛好者にとっても励みになり栄誉なことであると思います。

各試合の勝敗はもちろん大事ではありますが、期間中は、十勝・帯広の自然にはぐくまれた豊富な食材を使用した「フードバレーとがち」の食事やスイーツなどの味覚も十分に楽しんでいただきながら、選手同士の交流も深めていただき、思い出に残る大会にしていきたいと思います。

結びに、本大会を主催されております公益財団法人日本テニス協会、並びに主管されております北海道テニス協会の皆様、並びに多くの関係者の皆様に大会の成功をご祈念申し上げます。歓迎のごあいさつとさせていただきます。

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
実業団委員会委員長

矢澤 猛

お蔭さまで全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル）も第54回を迎え、北海道地の実業団委員でもあります山田直樹氏のご尽力によって、ここ北海道の帯広市にて5年ぶりに開催出来ることになり、大変うれしく思います。真夏の暑さ厳しい時期での大会ではありますが、広々とした帯広市での素晴らしい気候の中で本大会が行われることは、選手のみならず、大会関係者にとっても嬉しい事であり、大会運営も円滑に進めることが出来ると思います。

後になりましたが、厳しい予選を勝ち抜き、ここ帯広市にお集まりいただいた選手の皆さん、本当におめでとうございます。それぞれの地域での予選会におかれまして、とても厳しい試合が続いてきた事と思いますが、これからの3日間が本番です。昨年の大会にて僅かの差で悔しい思いをしたチームの皆さんも多いかと思いますが、今年こそはと1年間頑張って来られた練習の成果を存分に発揮して、団体戦特有のチームワークの力を生かして、正々堂々と悔いのないテニスをしていただきたいと思います。そして参加チーム、テニス部のサポートを受けている会社への感謝の気持ちを忘れずに、ビジネスパル日本一を目指して素晴らしいテニスを観客や応援の人たちに披露していただきたいと思います。また試合以外の時間では、全国からお集まりいただいた他チームの方々との親睦、交流を深め、帯広市での3日間を思う存分楽しんでいただき、沢山の思いで話をそれぞれの会社や地元の方々を持ち帰っていただければと思います。

最後になりますが、ご後援頂いております朝日新聞社様、北海道、帯広市の関係各位、ご協賛頂いておりますブリヂストンスポーツ株式会社様、北海道旅客鉄道株式会社様、ご協力頂いております帯広テニス協会をはじめ、ご支援を頂いております関係各位にお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。